

# 「県政タウンミーティング（熟議方式）」の開催概要について

教育総務課

開催日時	平成23年5月21日（土） 15時30分～18時45分
場 所	松本合同庁舎 講堂
参 加 者	<p>○熟議参加者 42名（5グループ）</p> <p>公募の県民：32名、県関係者：5名（阿部知事、伊藤委員、高木委員、山口教育長、小嶋次世代サポート課長）、ファシリテーター：5名</p> <p>○傍聴者 約30名</p>
テ ー マ	「10年後の学校を考えよう」
熟議で出された意見（グループ発表から抜粋）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 外部講師やボランティアなど地域の人材をもっと学校に呼び込みたい。地域と学校をつなぐ人、サポートする仕組みが必要。</li> <li>○ 情報の共有や良いこと以外の悩み事も学校が発信していくことで地域からの支援が期待できる。</li> <li>○ 学校に森を作ること、年齢を越えた子ども達の遊びの経験、子ども自身の気づき、体力も付いたりするのではないかな。</li> <li>○ 支援方法を学校でも多様化するし、学校以外でも多様化することが求められる。フリースクール等を認可制度とし、資金や運営面でサポートするシステムを導入すべき。</li> <li>○ 学校が忙しくて大変なら、たまには、学校以外のコミュニティで授業を行ったらどうか。</li> <li>○ 特別支援教育では、「連携」をキーワードに、その子を中心に置いて関係者が縦割りではなく、一堂に会して結びつきを強くしていく。</li> <li>○ 発達障害の子ども達には、学校以外の場での学びも出席として認める制度が必要。</li> <li>○ 立場の違う関係者が集まって学校教育のめざす先の議論を続けることが10年後の学校を支えていくことに繋がる。</li> </ul>
熟 議 の 子 様	 